

第230回 教育研究評議会議事要録

日 時 令和5年9月19日（火）16時00分～16時50分

場 所 大学本部棟5階第1会議室

出席者

（評議員）中村学長、黒澤・奥田・茅・片田・市川・木内・小林 各理事、塙・岩崎各副学長
服部・小泉・中山・鈴木 各学域長、幸田附属図書館長
高橋・田中・谷口・郷・武井・大山・川村・飯山 各教授
（列席者）長谷川・井上・小谷・岸上 各学長補佐 齋藤・八巻 各監事
志村・土屋・種田・壬生・窪田・深澤・石原 各部長
中村・植村・望月・岩元・白澤・大森・雨宮・千野・石井 各課長

議事要録確認

第229回教育研究評議会（R5.7.18開催）議事要録を確認した。

報告事項

- 1 大学院総合研究部附属センターの設置形態変更について
黒澤理事から、資料1により、本学の強みである「先端脳科学」及び「流域環境科学」を全学的に支援するため、学域附置施設である「山梨 GLIA センター」及び「国際流域環境研究センター」を全学附置施設に変更した旨の報告があった。
- 2 教育の内部質保証に関する自己点検・評価結果について
黒澤理事から、資料2により、標記自己点検・評価結果について報告があった。
併せて、課題等については、質保証委員会で改善計画を策定した上で取組を進めていく予定である旨の説明があった。
- 3 企業アンケートに関する見直しについて
黒澤理事から、資料3により、教育研究活動や学生支援の充実・改善に向けて、卒業生の就職先企業へのアンケート調査を全学一元的に集約し、毎年度実施する旨の報告があった。
- 4 学生の懲戒について
奥田理事から、窃盗及び虚偽報告を行った学生に対し、本学学則第40条に基づき、無期停学処分を行ったことについて報告があった。
- 5 学生サポートセンターのカウセリング実施状況について
奥田理事から、資料4（回収資料）により、標記センターのカウセリング実施状況及び今後の対応状況等について報告があった。
- 6 自然科学系論文の生産状況等について
茅理事から、資料5により、本学の自然科学系論文数の経年変化及び他大学、他国との比較結果について報告があった。

中村学長から、研究環境の向上のためには研究時間の確保が重要であることから、学域も含め委員会の削減等に協力願いたい旨、及び新たに強みとなりそうな分野、融合研究、外国との共同研究等については、大学として重点的に支援していきたいので、分析結果を報告願いたい旨の発言があった。

7 令和6年度概算要求（組織整備）の状況等について

市川理事から、資料6により、教育研究組織改革分で3事業、基盤的設備等整備分で1件が文部科学省から財務省への要求事項となり、12月末頃に内示予定である旨の報告があった。

8 令和6年度概算要求（施設整備）の状況について

市川理事から、資料7により、標記概算要求額及び施設整備費概算要求事業で5事業がS評価、1事業がA評価となり、事業の採択結果は、年末に文部科学省から通知される見込みである旨の報告があった。

9 令和5年度「成果を中心とする実績状況に基づく配分（共通指標）」の配分結果等について

市川理事から、資料8により、文部科学省から提供された標記共通指標の配分結果について報告があった。

片田理事から、制度等に関する補足説明及び配分率が高い項目についてはさらに伸ばすとともに、配分率の低い項目については改善をお願いしたい旨の発言があった。

中村学長から、改善の余地のある項目については、項目ごとに課題を明らかにし、各学域に共有しながら取り組んでいく旨の発言があった。

報告事項10～12（資料9～11）については、説明を省略し、各自確認願うこととした。

10 千葉工業大学との連携事業について

11 教員の採用報告について

12 令和4事業年度財務諸表の承認について

審議事項

1 統合オミクス研究センターの設置（案）について

黒澤理事から、資料12により、マルチオミクス解析の研究を推進するため、医学域に同センターを設置する旨について説明があり、審議の結果、これを承認した。

2 令和6年度学年暦（案）について

奥田理事から、資料13により、標記学年暦について説明があり、審議の結果、これを承認した。

3 ドイツ・オーム工科大学との大学間学生交流協定の締結（案）について

茅理事から、資料14により、標記大学との大学間学生交流協定の締結について説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 中国・内蒙古医科大学との学術・教育交流に関する協定書及び覚書の再締結（案）について

茅理事から、資料15により、標記大学との学術・教育交流に関する協定書及び覚書の更新・再締結について説明があり、審議の結果、これを承認した。

- 5 研究強化・イノベーション本部の新設（案）について
茅理事から、資料 16 により、全学的な研究強化・イノベーション創出に向けた研究戦略の企画・立案を担う標記本部の新設について説明があり、審議の結果、これを承認した。
中村学長から、新しい組織体制による研究力強化について、協力願いたい旨の発言があった。
- 6 令和 5 年度研究休職者（案）について
片田理事から、資料 17 により、標記研究休職者について説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 7 学内規則の一部改正（案）について
片田理事から、資料 18 により、事務組織の改編に伴う学内規則の一部改正について説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 8 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等（案）について
片田理事から、資料 19 により、標記ガバナンス・コードの適合状況及び本学ホームページへの公表について説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 9 民間資金獲得委員会規程の一部改正（案）について
市川理事から、資料 20 により、標記規程の一部改正について説明があり、審議の結果、これを承認した。
- 10 大学管理スペースの使用許可（案）について
市川理事から、資料 21 により、標記使用許可（10 件）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

その他

中村学長から、先般、附属中学校でインフルエンザにより学級閉鎖となったことから、引き続き基本的な感染対策を行っていただきたい旨の発言があった。

※次回会議 令和 5 年 1 0 月 2 4 日（火） 1 5 時 3 0 分からの開催を確認した。